



# 瀬戸市勢要覧

SETO CITY GUIDE 2024

住みたいまち 誇れるまち 新しいせと

# 瀬戸市勢要覧

住みたいまち 誇れるまち 新しいせと

## CONTENTS

- 4 陶都瀬戸のあゆみ
- 8 瀬戸の魅力発信
- 12 日本遺産のまち瀬戸市
- 14 見せる魅せられるまち
- 16 せとまちマップ
- 18 第6次瀬戸市総合計画

都市像 1 活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち

19 コンパクトでまとまりのあるまちづくり

20 企業立地と新たな産業の創出

21 ものづくり文化を育む／ツクリテをツナグ

都市像 2 安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち

22 瀬戸市の新しい教育

24 子どもたちの「つながる心」と「生きぬく力」が育つまち

都市像 3 地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち

26 市民活動／地域力向上推進

28 広がる市民の輪

30 ジブリパーク応援「となりのセトシ」／将棋文化振興

31 瀬戸市議会

32 市制95年のあゆみ 受け継がれてきた歴史を未来へ

## 発刊のごあいさつ Greetings from the Mayor

瀬戸市は昭和4年10月1日、愛知県下5番目の市として誕生し、2024年10月には市制95周年を迎えます。

良質で豊かな陶土と自然環境、そして先人の創造と努力の賜物により、陶都として千年以上の歴史を築いてきました。平成29年4月には、瀬戸市を含む日本六古窯の産地が提唱する「きっと恋する六古窯－日本生まれ日本育ちのやきもの産地－」のストーリーが「日本遺産」として認定され、その歴史に名誉ある称号を得ました。

平成29年に策定した「第6次瀬戸市総合計画」に掲げるまちの将来像「住みたいまち 誇れるまち 新しいせと」及び3つの都市像に、新たな視点として「住む」「働く」「学ぶ」「育む」の4つを加え、市民の皆さまの声も聴きながら、目指すまちの姿の実現に取り組んでまいります。特に、本市の未来を担う若い人たちにも住みたい、住み続けたいと思っていただけるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

この市勢要覧は、現在の瀬戸市の姿とこれからの将来像をまとめたものです。本市を知っていただく一助となれば幸いです。

令和6年3月 瀬戸市長 川本 雅之



Seto City was founded on October 1, 1929 as the 5th city of Aichi Prefecture, and celebrates its 95th anniversary as a municipal organization in October 2024.

The creativity and efforts of our forefathers combined with high quality and abundant clay and natural environment have helped us build a history of over 1,000 years as a pottery capital. The story that recounts the tale of Seto and Japan's Six Ancient Kiln regional producers, "Six Ancient Kilns to Love: Pottery Born and Raised in Japan" was recognized as Japan Heritage in April 2017 and given a title that honors this history.

Since 2017, the city has promoted a future vision: "the city you want to live in, the city you are proud of, the new Seto" in the 6th Seto City Comprehensive Plan, and we have started various initiatives aiming at the coming decade.

This guide depicts Seto City as it is now and as we envision it in the future.

We hope the guide helps you get to know Seto City.

Masayuki Kawamoto, Mayor of Seto, March 2024

## 瀬戸市の概要

Seto City Overview

### 市役所の位置

東経 137° 5'3" 北緯 35° 13'24"

### 市の大きさ

東西 12.8km 南北 13.6km  
面積 111.40km<sup>2</sup>



瀬戸市は、濃尾平野の東に広がる尾張丘陵の一角にあって、中部経済圏の中核をなす名古屋市の北東約20kmに位置しています。丘陵地帯の瀬戸層群と呼ばれる地層からは、良質の陶土やガラス原料の珪砂が採取され、古くからやきものまちとして栄えてきました。

Seto City is situated in one corner of the Owari hills that spread to the east of Noubi Plain, about 20 kilometers northeast of Nagoya, which forms the core of the Chubu economic region. High quality clay and silica sand, the raw material of glass, can be mined from strata called Seto Group in hills, which enabled our city to prosper as a pottery capital for ages.



# 陶都瀬戸のあゆみ

*A History of Seto, Pottery Capital*

瀬戸は、市域の大半を占める丘陵とさらにそこから流れる河川によって豊かな自然が生まれ、一千万年以上前から形成された珪砂・陶土層があります。この豊かな自然を背景に、今から約千年前、白い良質な陶土を原料としたやきものづくりが始まりました。

以降、瀬戸のやきものづくりは絶え間なく進歩を遂げ、世界を代表とする陶都となりました。

Seto has rolling hills that form the majority of city area and rivers that flow from there. They have nourished abundant nature containing silica sand and clay layers created at least 10 million years ago. Having the backdrop of the rich nature, pottery making with high quality white clay started about 1,000 years ago. Techniques of pottery making have evolved, and made Seto a globally-renowned pottery capital.

## 陶祖と磁祖

Pioneers of Pottery and Porcelain

### 陶祖——加藤四郎左衛門景正(通称 藤四郎)

Pioneer of Pottery —— Kato Shirozaemon Kagemasa (Toshirō)

瀬戸焼の開祖といわれる人物。伝記によれば、鎌倉時代前期の貞応2年(1223)に曹洞宗の開祖である道元に従って中国に渡り、やきものの技法を学んで帰国しました。その後、やきものづくりに適した土を求めて全国を巡るなか、仁治3年(1242)に瀬戸の祖母懐でよい土を発見し、瀬戸で窯を開いたとされます。毎年、4月第3日曜とその前日には、その偉業を称える「せと陶祖まつり」が開催されます。



▲陶祖肖像画 梅瑛 20世紀前期

### 磁祖——加藤民吉

Pioneer of Porcelain —— Kato Tamikichi

江戸時代後期瀬戸の窯屋仲間の取り決めにより、陶業を継げるのは長男のみとされ、次男の民吉は家業を継げずになりました。名古屋で新田開発に携っていた民吉は尾張藩熱田奉行津金文左衛門の目に留まり、南京焼(染付磁器)の研究を手伝うことになりました。その後、文化元年(1804)に尾張藩や瀬戸の窯屋の支援のもと、単身九州へ修業に向かいます。いくつかの窯元で修業したのち、佐々の市の瀬戸山(現在の長崎県北松浦郡佐々町)の福本仁左衛門窯で磁器技法の習得に励みます。文化4年(1807)瀬戸に戻り、その技術を伝えたことにより瀬戸の磁器生産は急速に発展しました。こうした業績を称え、毎年9月第2土・日曜には「せともの祭」が開催されます。



▲磁祖肖像画 梅瑛 20世紀前期

## 豊かな自然に恵まれた人々の暮らし

Life Blessed with Rich Nature

瀬戸市内の上品野遺跡では、三万年前の後期旧石器時代の石器群が、品野西遺跡では、縄文時代草創期の尖頭器が出土しており、旧石器時代から縄文時代にかけて人々が暮らした証がみられます。瀬戸市域は尾張・三河の境界の地として、弥生中期までは三河地方の、弥生後期から古墳時代にかけては尾張地方の土器文化の影響を受けます。また、古墳時代中期から後期にかけて、丘陵地帯に多数の古墳が築造されます。



▲本地大塚古墳(市指定史跡)



▲品野西遺跡出土石器



▲品野西遺跡出土「豊」墨書須恵器

◀木造 十一面観音菩薩立像 (県指定彫刻)



▲定光寺本堂(国指定建造物)

## 尾張東部地域の拠点として

As the Center of Eastern Owari

平城京出土木簡の「山田郡山口郷」が現在の山口地区にあたりと考えられることから、奈良時代からこの地名があったことがわかります。品野地区では、奈良時代の大規模な集落や平安時代の祭祀具が出土しており、尾張東部地域の拠点的な集落があったと考えられています。

鎌倉時代になると、尾張源氏である山田氏が登場し、瀬戸のやきもの生産にも関わったものと考えられますが、承久の乱で鎌倉幕府方に敗れて勢力を失います。

室町時代になると水野氏や松原氏など在地の武士が台頭し、定光寺や雲興寺など、尾張北部から東濃・三河地方などの広い範囲で信仰された仏教寺院が創建されます。

室町 14 世紀 鎌倉 12 世紀 平安 10 世紀 旧石器時代 古墳時代・古代

## 瀬戸焼の始まり

Beginning of Setoyaki (Seto ware)

瀬戸市域に初めて窯が築かれたのは平安時代後期(10世紀後半)のことです。猿投窯からの流れをくむその窯では、釉薬が施された「灰釉陶器」が生産されます。11世紀末期にはそれまで行っていた施釉技法を放棄し、無釉の「山茶碗」などを生産しますが、12世紀末期からは再び施釉陶器の生産が始まります。これは「古瀬戸」と呼ばれ、鎌倉時代から室町時代の約300年にわたり、国内唯一の施釉陶器として日本全国に流通していきます。



▲広久手第30号窯跡(市指定史跡)



▲入子 針原2号窯出土 13世紀末期~14世紀初期 口径(最大)9.6cm



▲灰釉縄手付瓶 広久手F窯出土 (重要有形民俗文化財) 11世紀中期 高さ26.2cm



▲鉄釉仏花瓶 伝 百目窯出土 14世紀前期 高さ28.7cm



▲名鉄尾張瀬戸駅(旧駅舎) 平成11年(1999)



▲愛・パーク(瀬戸万博記念公園)



▲蔵所町周辺(中央が旧瀬戸市役所) 昭和4年(1929)

昭和初期の世界恐慌から第二次世界大戦にかけては、陶磁器産業にとっても厳しい時代となりますが、戦後はいち早く復興し、水野村、幡山村、品野町と合併し、昭和34年(1959)に現在の瀬戸市になりました。

平成17年(2005)には、自然の叡智をテーマに国際博覧会「愛・地球博」が開催されました。また、平成29年(2017)には日本六古窯の一つとして日本遺産に認定され、現在も「せとものまち」としてのブランドを保ちながら、新たなものづくりのまちへと発展を続けています。

瀬戸村は明治25年(1892)に瀬戸町となり、瀬戸川沿いに官公庁や商店が軒を連ね、「せともの」の町として賑わっていました。明治38年(1905)には「瀬戸自動車線」(現在の「名鉄瀬戸線」)が開業し、瀬戸の陶磁器は国内はもとより海外へと運ばれていきました。大正14年(1925)に赤津村・今村・美濃之池村と合併、昭和4年(1929)に市制施行され「瀬戸市」が誕生します。

陶都から創造都市へ

From Pottery Capital to Creative City



▲水野代官所碑



▲菱野のおでく(市指定有形民俗)



▲源敬公廟(国指定建造物)



▲雲興寺鐘楼(国登録建造物)

戦国時代の瀬戸は、品野の品野城・桑下城を舞台に、尾張の織田氏と三河の松平・今川氏の間で攻防が繰り返られました。江戸時代になると、尾張藩領となり、赤津や品野の窯屋が藩の御用を務めるようになります。また、初代藩主徳川義直は、水野の地を鹿狩りで何度も訪れており、自らの墓所を定光寺に定められました。狩場案内役であった水野氏は御林方奉行に任ぜられ、尾張藩の林業を統括し、後には、この地に設置された水野代官も兼任するようになります。

尾張徳川家と瀬戸

Owari Tokugawa Clan and Sato

21 平成 昭和 大正 20 世紀 明治 19 世紀 18 世紀 江戸 17 世紀 安土桃山 16 世紀 戦国 century



▲パーティの前  
丸山陶器株式会社  
昭和35年(1960) 高さ39.7cm(男)



▲牡丹文碧瓷鉢 加藤華仙  
昭和21年(1946) 口径48.5cm



▲花文花瓶 長江明治  
昭和3~10年(1928~1935) 胴径23.4cm

上絵金彩菊垣雀図大花瓶▶  
初代川本栞吉  
19世紀後期 高さ75.2cm



躍進する陶都

Rapid Development of Pottery Capital

19世紀後半には、万国博覧会へ出品したことにより、欧米から高い評価を受け、それをきっかけとして瀬戸で作られたやきものの輸出が盛んになります。さらに20世紀に入ると、大量生産の体制が確立します。その一方で、職人や陶工から作家への意識改革も起き、陶芸分野の成立へとつながっていきます。大正3年(1914)には瀬戸における最初の作家集団である「瀬戸図案研究会」が設立され、その後も「瀬戸陶芸協会」をはじめとしたいくつかの団体が発足し、国内でも最先端の陶芸活動が行われることとなります。

また、昭和時代にはノベルティや飲食器、タイル、衛生陶器、碍子、理化学用品などの生産が大幅に伸び、輸出を中心とした瀬戸のやきものづくりは最盛期を迎えます。その後、変動相場制の導入やオイルショックなどにより、輸出向け製品は徐々に低迷していきますが、その一方で、ファインセラミックスなど最先端技術を駆使した分野への進出など、陶都瀬戸の歴史は未来に向けてつながっていきます。



▲せと窯風景 小田切春江  
19世紀中期 幅49.0cm



▲染付山水図大花瓶  
伝 加藤民吉・伊豆原麻谷 画  
(重要有形民俗文化財)  
19世紀前期 高さ46.8cm



▲折縁鉄絵鉢 伝 穴田窯出土  
寛永12年(1635) 口径28.0cm



▲瑠璃釉瓢形蓋付壺 三代川本治兵衛  
(重要有形民俗文化財)  
19世紀前期 高さ19.6cm



▲建水 月山窯出土  
16世紀後半 胴径15.2cm

多様化する技術・表現

Diversifying Techniques and Expressions

15世紀末期になると、一度により多くの製品を焼くことができる「大窯」が登場します。16世紀後期には瀬戸の陶工が美濃へと移り、茶の湯の流行とともに「黄瀬戸」「瀬戸黒」「志野」といった新しい技術・デザインのやきものを作り出し、さらに17世紀初期の「連房式登窯」の導入と相まって「織部」が生産されます。その後、尾張藩は慶長15年(1610)に加藤利右衛門をはじめとする陶工を美濃から赤津村や下品野村へ召還し、瀬戸窯業を再興します。以降、尾張藩の庇護のもと、日用品を中心にやきものづくりが発展していきます。また、同時に名工たちによる一品物の制作も盛んに行われるようになります。

そして、19世紀前期には本格的に磁器の生産も開始され、多種多様なやきものが生み出されます。



魅力04 大都市に近い自然「里山」  
"Satoyama", Nature Close to the City Area

名古屋の都心から電車で約40分あまりの距離にありながら、瀬戸には豊かな森林が広がっています(市域の約6割)。その森林は、千年以上続くやきものの文化や歴史の中で、薪として活用され、先人たちによって再生を果たしてきました。瀬戸には、集落に近く、人との関わりによって多様性を維持してきた「里山」があり、希少な生物たちも生息しています。

2005年に愛・地球博が開催された瀬戸には、そのテーマであった「自然の叡智」が大切に引き継がれています。

魅力05 ツクリテが身近にいる  
Creators in Our Neighborhood

瀬戸の暮らしには身近にツクリテがいます。陶芸家だけではなく、ろくろ師、絵付師、原型師、製型師、鋳込師などの専門職人がやきもの産業を支えています。また、やきものだけでなく、ガラスや木工、デザインなど幅広い分野で活躍する多くのツクリテと出会えます。



Instagram公式アカウント (@seto\_citypromo)で瀬戸の魅力を発信しています。

The official accounts posts the appeal of Seto City on Instagram.

〈せとまちサポーター〉

市内外の瀬戸市が大好きな方々が、Instagramを活用して、瀬戸市の魅力を発信しています。

#せとまちサポーター

魅力01 千年の歴史を育んできた「せともの」  
Setomono Cultivated Over a Millennium

瀬戸では、世界的にも例を見ない千年以上も連続と続くやきものづくりが行われています。飲食器にとどまらず、瓦、タイル、碇子、ノベルティ、ファインセラミックスなど多種多様な製品で、日本人の生活・文化を支えています。市内にはやきもの製造に携わる人が多く、その土壌を背景として、やきもの以外のツクリテも各地から集まっています。

魅力02 陶都を感じるまちなみ  
Cityscape Evoking the Heart of Pottery Culture

瀬戸は、やきものづくりの発展にあわせて、まちなみが形成されてきました。市内の各所には窯元の工房などがあり、窯道具を積み上げて作られた「窯垣」と呼ばれる瀬戸独自の美しい幾何学模様の景観や陶製の橋、建物を彩る陶壁など、まちの随所にやきもの産地としての歴史や伝統、文化を感じることができます。

魅力03 個性的なまちぐらし  
Distinctive City Lifestyle

千年以上続く歴史の中、ツクリテたちが時代の流行を敏感に感じ取り、その時代の最先端の技術革新を繰り返し築いてきたものづくりの空気が瀬戸の暮らしに息づいています。ものづくりや豊かな自然を背景に、自分らしい、上質な暮らしが実現できます。

ロゴマークについて

瀬戸の原点である里山、川、そして豊かな自然の象徴であるオオサンショウウオを、左上から右に描きました。

そしてその豊かな自然から生み出される水と粘土により、やきものづくりの歴史が始まります。

その歴史を右から右下の、やきものや登り窯が象徴しています。

そして瀬戸の暮らしや人の営み、文化の象徴として、左下に窯垣を配し、瀬戸のやきもの千年の歴史の象徴として左側に狛犬を配しました。

そしてさらに発展し花開く瀬戸の未来を象徴するものとして、左上に三つの椿の花を配しています。

三つの椿の花はそれぞれ瀬戸のツクリテ、ツカイテ、ツナギテを表しています。



THE CITY OF CERAMICS  
SETO, JAPAN

いいもん  
せともん

瀬戸の魅力発信

自然と共生しながら育まれてきた「ものづくり文化」とやきものづくりと深く関わってきた「里山」の恵みによって、創られてきたまち、陶都・瀬戸。  
瀬戸市はその魅力を磨き上げ、新たなライフスタイルを提案・発信し、「住みたいまち 誇れるまち 新しいせと」を実現していくことを目指しています。「せとまちサポーター」を始め、市民・事業者・行政が連携して、魅力発信をしています。

Promoting Seto's Appeal

The manufacturing culture nourished by the co-existence of rich nature and the grace of "Satoyama" have formed the pottery capital, Seto.

Seto City is aiming to realize the vision "the city you want to live in, the city you are proud of, the new Seto" by polishing up the appeal and by transmitting new life styles. "Setomachi Supporters", local residents, corporations and municipalities are working together to transfer the appeal of Seto to the world.

## 日常使いしてもらえる、 料理が映える器を

瀬戸市は分業で発展したまち。やきものに関わっている人が周りにたくさんいたので身近に感じていました。染付の藍は窯屋さんによって本当に多彩。飽きがこなくて、どんな時代にも受け入れられてきたもの。陶器を使っただけの暮らしは心が豊かになると思います。料理が映えるような器をつくろうというつもっています。

染付作家(眞窯)

## 加藤真雪さん



MAYUKI KATO



REIKICHI KATO

## 加藤令吉さん

陶芸家(背戸窯)

瀬戸は歴史と伝統があるまち

平安時代からの施釉陶器がせともの原点。平安京や鎌倉幕府、南北朝、室町幕府など、国への献上品(国のトップに認められたもの)を作ってきたことは大きな誇りです。そんな歴史が背景にあるから、瀬戸でやきものをやっていた良かったと思います。窯神社や陶祖公園を陶工、陶芸家の聖地(メッカ)にして、せと陶祖まつりやせともの祭と融合できると面白いと思います。

## 居心地のよい商店街に

せと銀座通り商店街らしい応援をしようと思い、シャッターを活かして藤井聡太棋士の対局の実況を始めました。彼の活躍に合わせて、商店街が注目される機会も増え、訪れる方が将棋だけでなく商店街や瀬戸市を愛してくださることが励みになっています。ここで年齢や性別に関係なく、いろんな方の居場所づくりができればいいなと思っています。

セレクトショップ経営

地元棋士応援「シャッター大盤」

## 飯島加奈さん



KANA IIJUMA



YUSUKE MIZUNO

## 水野雄介さん

陶工(瀬戸本業窯)

使えば使うほど、器が育つ

瀬戸焼は、器を育てることを楽しんで欲しいです。瀬戸本業窯は250年以上続く窯元であり、昔ながらの分業制によって、ひとつひとつが職人による手仕事で成り立っています。また、洞の地域保全活動にも力を入れており、昔の窯跡の整備も行っています。かつては当たり前だった風景を後世へ残していきたいです。

## 人と人とのつながり

瀬戸は人と人とのつながり、市民一人一人の力が強いまちです。まちのため、周りの人のために何かできないかな、と思っている方が多いと思います。多様な人が受け入れられる、交流できる、発信できる、そんなまちをつくっていく一員でありたいです。

ラジオパーソナリティ

## 林ともみさん



TOMOMI HAYASHI



RYO OGATA

## 尾形亮さん

ご当地ヒーローでまちおこしの会

瀬戸すげーぞ、みてろよ

大好きな戦隊ヒーローに自分もなりたいたいという思いがきっかけで始まったご当地ヒーローの陶神オリバーですが、商店街に出入りするようになって、まちのいいところをもっと広めたいと思うようになりました。陶神オリバーを通して「俺たちのまちってすげーな」って子どもにも、大人にも我がまちを誇りに思ってもらいたいです。

## 作陶を通じた交流

全国各地で個展を開催し、様々な人と交流する機会を持っています。ものづくりのまち瀬戸の魅力を伝えると「瀬戸市ってすごい!」と言っていただけです。瀬戸市のものづくりは陶磁器だけではなく。様々なツクリテのものづくりを通して魅力を発信していけることが瀬戸市の強みです。

陶芸家

## 水野智路さん



TOMORO MIZUNO



MASANARI SUZUKI

## 鈴木政成さん

株式会社中外陶園

自分らしい生き方ができるまち

瀬戸市の今が厳しい時だとしても、それは千年前から今日までに何度も乗り越えてきたもの。これからの瀬戸に想いを馳せて、「時代に合った、新しい瀬戸」を仲間たちと作り上げていくことにワクワクしています。ものを持たないこれからの時代で、瀬戸は何ができるのか。瀬戸は自分らしい生き方ができる可能性を秘めたまちだと思います。

## 【陶都・瀬戸の魅力】

市民にとってはあたりまえ、でも外の人からみるとすごい。瀬戸は、「せともの」の由来となる、やきものまち。瀬戸に暮らす多くの人が、「ツクリテ」「ツカITE」「ツナギテ」として一緒にまちをつくっています。

# ツクリテ × ツカITE × ツナギテ

長い歴史のなか「せともの」という言葉と瀬戸独自のまちなみをつくり出し、暮らし方も自由でクリエイティブなツクリテ。

そんなツクリテが身近にいることを誇り、自分らしいこだわりを持ちながら、穏やかな瀬戸のまちや自然、瀬戸焼を楽しむツカITE。

そんなツクリテとツカITEの接着剤になって、新しい人たちも気さくに受け入れ、瀬戸のいいモノやいいコトを発信するツナギテ。

ツクリテがいて、ツカITEがいて、ツナギテがいる。みんなの手で森をつくり、川を憩いの場として使い、その森や川のきらめきを次の世代につなぐ。

そして誰もがツクリテで、ツカITEで、ツナギテになる。丁寧な暮らしをつくり、家族との時間を大切に使い、古くて新しい瀬戸へとつながります。

## Appeal of the Pottery Capital, Seto

What the city residents take for granted is unbelievable to non-city dwellers. The name "Setomono" is used to mean "pottery" which derives from the Seto area. Residents of the city are Creators, Users and Mediators creating spirits and souls of the city.

Creators × Users × Mediators





## 日本遺産に認定

Designated as Japan Heritage

瀬戸焼、越前焼、常滑焼、信楽焼、丹波焼、備前焼の日本六古窯の産地が提唱する「きつと恋する六古窯」日本生まれ日本育ちのやきもの産地「」のストーリーが、平成29年4月に日本遺産として認定されました。(令和5年7月認定更新)

千年以上の歴史と伝統を有するやきもの産地である瀬戸市が、その歴史に名譽ある称号を授かりました。様々な釉薬を駆使したやきものづくりは、瀬戸焼の特徴の一つであり、繊細な色合いは、時代を超えて多くの人々を魅了し続けています。瀬戸には、認定されたストーリーそのままの文化と風景が今も息づいており、時空を超えて、日本の原風景に出会うことができます。

## 日本遺産に

## 認定されたストーリー

The Japan Heritage Story

平安時代から今も連続とやきものづくりが続く瀬戸のまちは、丘陵地に残る大小様々の窯跡や工房へ続く細い坂道が迷路のように入り組んでいます。恋しい人を探すように窯の煙突を目印に陶片や窯道具を利用した崩沿いに進めば、「わび・さび」の世界へと自然と誘い込まれ、時空を超えてセピア調の日本の原風景に出会うことができます。

## 何度でも訪れたいくなるまち

City Beckoning Visitors Again and Again

瀬戸には、職人たちが窯道具を自らの手で緻密に積み上げた、個性あふれる幾何学模様の「窯垣」など、瀬戸ならではのまちなみや文化財があります。また、まちを歩けば、曲がりくねった道が連なり、作陶が奏でる音や匂いを体感できます。他のまちでは味わえない風景は、訪れた人の心を惹きつけます。ストーリーのタイトル「きつと恋する六古窯」には、心を惹きつける瀬戸のまちに、恋するように何度も足を運んで欲しい、そんな思いが詰まっています。



瀬戸窯跡 小長曾陶器窯跡(国指定史跡)



日本最大規模の陶磁器イベント「せともの祭」



伝統的な口口技術



赤津瓦が葺かれているやきもの工房

## 日本六古窯 Six Ancient Kilns of Japan

平安・鎌倉時代に陶器生産を開始し、現在まで生産が続く代表的な6つの産地を総称して「日本六古窯」といいます。

瀬戸は、越前、常滑、信楽、丹波、備前とともに日本六古窯の一つに数えられています。

6 places which have made pottery since the Heian and Kamakura periods are called "Six Ancient Kilns of Japan".



築する、千年、六古窯  
瀬戸市、丹波市、信楽市、常滑市、備前市



瀬戸焼  
Setoyaki  
愛知県瀬戸市

中世期では国内で唯一、施釉陶器を生産

# 日本遺産のまち瀬戸市

Seto, City of Japan Heritage

The Japan Heritage consists of people, places or things certified by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan that tell the story of Japanese culture and traditions through historical appeal or unique features of a local region. A variety of cultural properties essential to telling the story are comprehensively organized and utilized by the local regions themselves for strategic communication both within Japan and overseas with the goal of revitalizing the regions.

The story "Six Ancient Kilns to Love: Pottery Born and Raised in Japan," that recounts the Setoyaki, Echizenyaki, Tokonameyaki, Shigarakiyaki, Tanbayaki and Bizenyaki from Japan's Six Ancient Kiln regions, was designated as Japan Heritage in April 2017.

Seto City was awarded a title to honor over 1,000 years of history and tradition as a pottery region. Pottery featuring a variety of glazes is a hallmark of Setoyaki, whose delicate hues continue to fascinate people throughout the ages.

「日本遺産 (Japan Heritage)」とは...

What is Japan Heritage?

「日本遺産」は、地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かせない魅力あふれる有形無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

100以上のストーリーが日本遺産に認定されています。



### 陶のまち 瀬戸のお雛めぐり

The Seto City Hina Dolls Tour  
陶磁器やガラスの創作雛を  
展示した巨大ひな壇「ひなミッド」  
(瀬戸蔵)をはじめ、瀬戸の  
街中がお雛さまで華やかに  
彩られます。

### ゆるり 秋の窯めぐり

Great Journey around  
the MARUTTO Museum  
窯元が、工房やギャラ  
リーを一斉に開放し、  
心のこもったおもてなし  
でお客様をお迎え  
します。



### 自然 NATURE

代表的な景勝地である「定光寺公園」と「岩屋堂公園」は  
四季を通じて自然を満喫することができ、この2つの公園  
を結ぶ「東海自然歩道」は人気のトレッキングコースです。

### 体験 EXPERIENCE

陶磁器の作陶体験やガラスの制作体験などができる施設や  
工房が数多くあり、伝統に培われたものづくりの楽しさを体  
感できます。



瀬戸焼そば Seto Yakisoba  
(Seto fried noodles with sauce)  
蒸し麺に、醤油ベースの豚肉の煮汁を加えて仕  
上げる瀬戸特有の味はクセになること間違いな  
し。文化庁の「100年フード」に認定されました。



ゴモ(五目ご飯) Gomo (Gomoku Gohan)  
栄養価も高く素早く食べられることから、  
職人の定番の食事とされ、今も愛され続け  
ています。



うなぎ Eel Dish  
甘辛い濃い目のタレと香ばしい焼きが特徴。  
その昔、職人の栄養補給のための食として  
重宝されていたといわれています。

### イベント EVENTS

- 4月 → せと陶祖まつり
- 9月 → せともの祭  
来る福招き猫まつりin瀬戸
- 11月 → ゆるり秋の窯めぐり
- 2月~3月 → 陶のまち 瀬戸のお雛めぐり

絵本作家のぶみさんによるデザイン。  
瀬戸市のおもてなし看板娘です。



瀬戸市観光情報公式サイト  
<http://www.seto-marutto.info/>



瀬戸市まるっとミュージアム・  
観光協会Instagram  
(@setoshi\_kanko)

### せと陶祖まつり

Seto Touso Festival

陶祖・藤四郎をしのぶ祭礼。  
「陶祖供養」、「せともの廉売市」  
など、さまざまな行事が開催  
されます。

### 岩屋堂公園 夏の川遊び

Iwayado Park



Seto City features various  
attractive events, experiences  
and foods influenced by pottery  
culture.

### せともの祭

Setomono Festival

磁祖 加藤民吉翁の遺徳を  
たたえる産業祭。瀬戸川沿いに  
約150軒ものせともの店が立ち  
並ぶ「せともの大廉売市」は  
全国最大級。



### 来る福招き猫まつりin瀬戸

Kurufuku Manekineko Festival in Seto

100余年に及ぶ「招き猫」の歴史がある  
瀬戸の秋を彩る一大イベント。  
街中が招き猫でいっぱい  
なるお祭りです。



見せる  
魅せられるまち  
A City of Enchanting Sights  
瀬戸市には、やきもの文化を背景とした  
イベント、体験、グルメなど楽しい魅力がいっぱい  
です。

尾張瀬戸駅  
周辺  
MAP



**③ 祭神社**  
Kamagami Shrine  
九州で磁器の製法を学び瀬戸に伝えた、磁祖・加藤民吉を祀る神社。境内には民吉像と、登り窯を模した珍しい社があります。

Setomachi Map

Seto is the city where you can encounter traditions. There are plenty of places you will want to visit again and again.



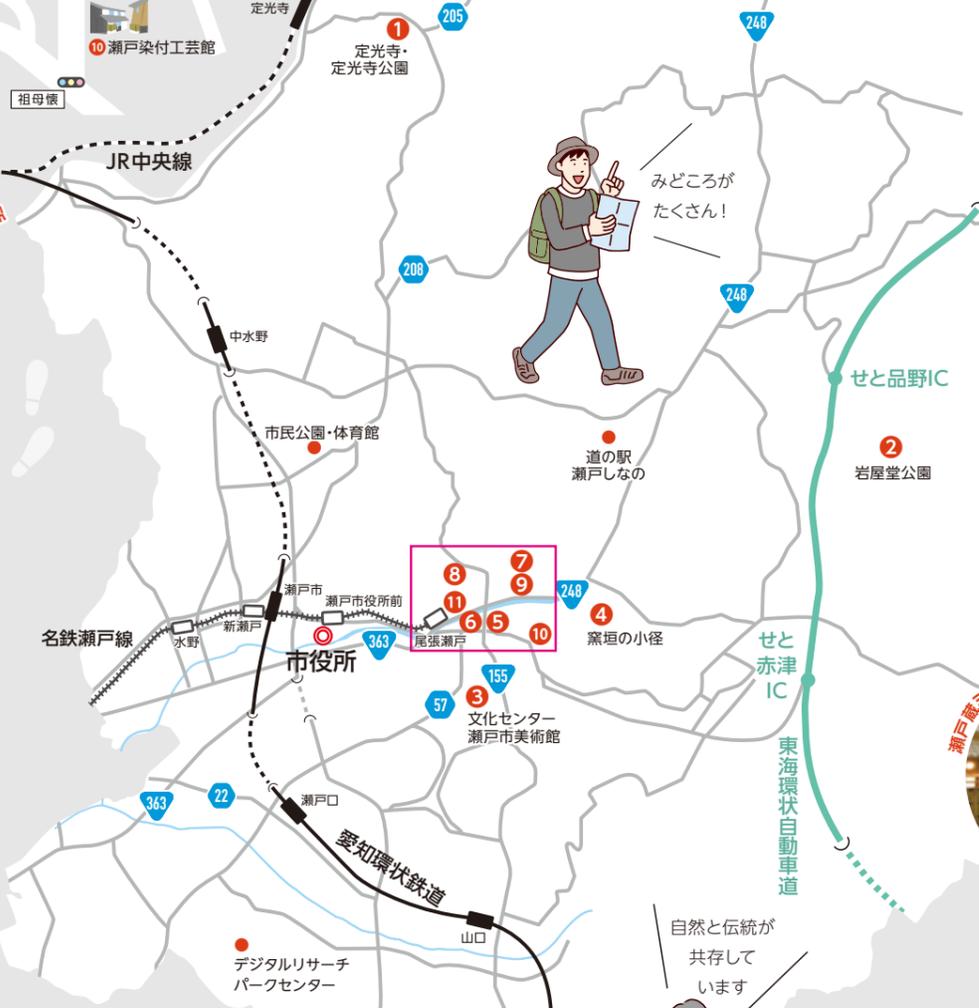
魅力いっぱいの瀬戸のまちをご案内します！



**⑪ パルティセと**  
Parti Seto  
賑わい、交流、学習活動の拠点となる駅前ビルです。1階には瀬戸観光案内所があります。



**やきもの橋**  
Bridges Ornamented with Pottery  
瀬戸市内の中心を貫く瀬戸川に架かる橋の多くには、多様な技法によるやきもの装飾が施されています。



**④ 窯垣の小径・窯垣の小径資料館**  
Kamagaki-no-Komichi Path and Museum  
窯道具を組み上げた垣根や塀が美しい散策路。道程にある資料館は明治初期の窯元の邸宅を改修したものです。



**⑤ 新世紀工芸館**  
Seto Ceramics and Glass Art Center  
陶磁器とガラスをテーマに作品を展示。研修生の制作風景を見学できたり、作家の器で喫茶ができるカフェもあります。



**⑥ 瀬戸蔵**  
Seto-Gura  
多くの市民や観光客が集まる施設で、瀬戸蔵ミュージアムでは瀬戸焼の歴史と文化に触れることができます。



**⑦ ノベルティ・子ども創造館**  
Seto Novelty Children's Creative Center  
土遊びからセト・ノベルティの伝統的な技術や文化を体感できます。



**① 定光寺・定光寺公園**  
Jokuji Temple and Park  
初代尾張藩主、徳川義直公の廟所や本堂などが国の重要文化財に指定されており、秋には紅葉との荘厳なコントラストを楽しめます。春は公園の満開の桜が見事です。



**② 岩屋堂公園**  
Iwayado Park  
夏にはホテル観賞と水遊び、秋には川沿いに広がる紅葉が楽しめます。



**③ 文化センター・瀬戸市美術館**  
Culture Center/Seto City Art Museum  
文化ホール、文化交流館、美術館からなり、幅広い分野で文化を発信しています。

せとまちマップ

伝統が息づくまち瀬戸。何度でも訪れたい場所がたくさんあります。



瀬戸市公式LINEを使えば、とっても便利！



**⑩ 瀬戸染付工芸館**  
Seto Blue and White Ceramics Center  
瀬戸染付の名品を展示。研修生の制作風景を見学しながら染付の歴史と魅力に触れることができます。



**⑨ 深川神社**  
Fukagawa Shrine  
1,200年の歴史を誇る神社。宝物殿には陶祖・藤四郎作と伝えられる陶製拍犬(国重要文化財)が納められています。



コンパクトで  
まとまりのあるまちづくり

Compact, Cohesive City

The urban district formed along the Seto river that flows through the middle of Seto City, and has grown to become one of the cities at the heart of the Owari Region. Currently, the Meitetsu Seto Line connects to downtown Nagoya City, and the Aichi Loop Railway connects to JR Chuo Line Kozoji Station and JR Tokaido Line Okazaki Station via Toyota City. With two of the Tokai-Kanjo Expressway interchanges, the city is connected to the Japanese logistics and transport artery that is the Tomei/Shin-Tomei Expressway and Chuo Expressway. Taking advantage of the traffic networks, Seto seeks to improve corporate vitality and promote tourism. Placing railway stations and traffic nodes as central points and local bases, Seto City will promote a compact and cohesive community.

瀬戸市は、市域の中央を流れる瀬戸川に沿って市街地が形成され、尾張地方の中心的な都市の一つとして発展してきました。現在、名鉄瀬戸線が名古屋市内とを結び、愛知環状鉄道がJR中央線高蔵寺駅と、豊田市内を経由しJR東海道本線岡崎駅とを結んでいます。また、東海環状自動車道の二つのインターチェンジを有し、日本の物流や移動の大動脈である東名・新東名高速道路や中央自動車道などにつながっています。こうした広域的な移動を可能とする利便性を活用し、企業活力の増進と観光交流を促進します。

市域の鉄道駅などの交通結節点を中心拠点・地域拠点と位置付け、子育て、医療・福祉、商業などの都市機能と居住機能を集積・再配置し、暮らしの質を高める拠点の形成を図るとともに、それぞれの拠点が有する機能を有機的に連携する交通ネットワークを構築することにより、コンパクトでまとまりのあるまちづくりを進めます。



新瀬戸駅連絡通路



東海環状自動車道せと赤津IC



塩草区画整理事業



瀬戸川プロムナード線



コミュニティバス

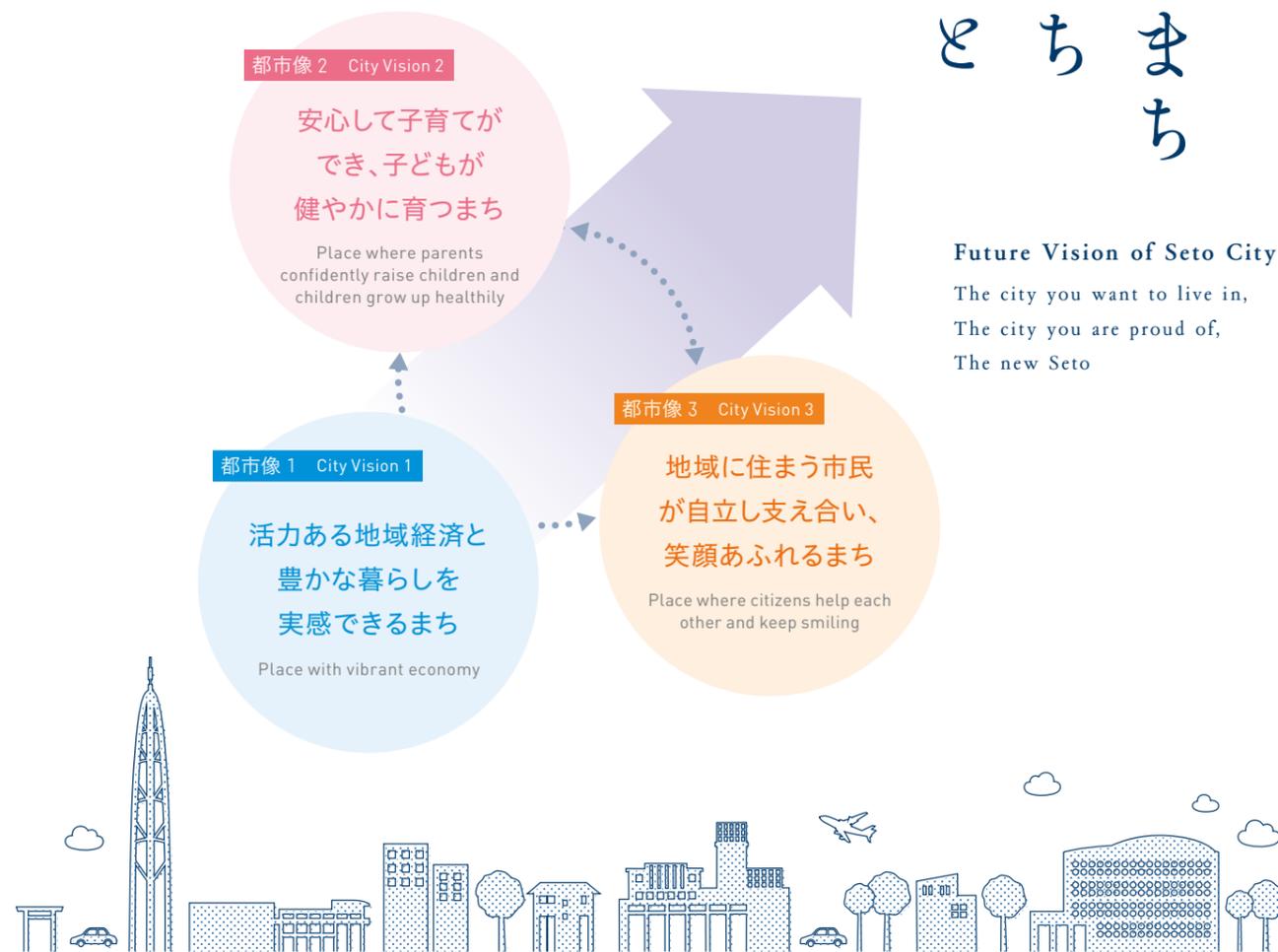
将来像の実現に向けて、未来のまちの姿としての3つの都市像を掲げています。都市像は、瀬戸市の現状と課題を踏まえて達成を目指す目標であり、将来像を実現するための具体的な都市の姿です。

第6次瀬戸市総合計画では、都市像を達成するための施策を展開し、その連鎖によって将来像の実現を目指します。

Looking to the future, the city created three visions of what Seto aspires to. The city visions are the goals set on the basis of current situations and challenge, and are the concrete pictures of the city to realize our future visions. The 6th Seto City Comprehensive Plan carries out initiatives to achieve the city visions and, to realize the future visions.

【瀬戸市の将来像】  
住みたいまち  
誇れるまち  
新しいせと

Future Vision of Seto City  
The city you want to live in,  
The city you are proud of,  
The new Seto



第6次瀬戸市総合計画

6TH SETO CITY COMPREHENSIVE PLAN

瀬戸市では、まちづくりの指針となる「第6次瀬戸市総合計画」において、まちの将来像を「住みたいまち 誇れるまち 新しいせと」として掲げています。

瀬戸市が、市民にとって暮らしたい、企業にとって活動したいと思われるまちとして、これから先も人や企業の営みによって支えられ、さまざまな世代の人たちが地域の中で支え合い、健康で、心豊かに暮らしていくことができるまちとなっていくことを目指しています。

また、歴史や伝統文化、豊かな自然環境などに代表される瀬戸市の魅力を「まちの誇り」として、多くの市民と共有しながら世界に発信するまちづくりを進めていきます。



子どもたちが制作した3DCGの建物や欄干を配置した「バーチャルせとランド」

子どもたちが第一線で活躍するプロの技術に触れ、デジタルコンテンツ制作をおこなって、ものづくりの面白さを体験します。

ものづくり文化を育む瀬戸における新たな産業創出に向けて、才能ある子どもたちの発掘と次世代のクリエイターを生み出すための人材育成を行っています。

## Seto CG Kid's Program

子どもたちが第一線で活躍するプロの技術に触れ、デジタルコンテンツ制作をおこなって、ものづくりの面白さを体験します。

### Nurturing the Culture of Creators

For the future generation, we offer children to experience technologies of growing industries and manufacturing so that they can become the human resources that play active roles in the future.



せとまちツクリテセンター  
Setomachi Tsukurite Center

せとまちツクリテセンター 検索

### Connecting the Creators

Setomachi Tsukurite Center opened in June 2017. As a central, one-stop office to support creators, the Center offers professional consultations with coordinators and serves as a gathering location for the creators' community. The unique feature of the Center is that creators themselves are the main cadre of the Center's operations and exhibition planning.

## ツクリテをツナグ

平成29年6月にオープンした拠点施設「せとまちツクリテセンター」では、ツクリテ支援のワンストップ窓口としてコーディネートによる専門的な相談や、ツクリテ同士の交流の場などとして活用されています。また、センターの企画展などの事業に、ツクリテが主体的に携わっているのも特徴です。

さらに、市内外で活躍するツクリテ情報の収集や事業マッチングなどを目的とした登録制度「せとまちツクリテ・人材バンク」、若いツクリテの市内定着を目的とした補助制度など、さまざまな支援体制を整備しています。ツクリテ支援事業では、多くの関係機関との連携を進めていくことで、ツクリテの活躍や市内定着を目指します。

将来を担う子どもたちがものづくりや成長が期待される産業に触れ、次世代に活躍する人材の育成を目指します。

## ものづくり文化を育む

# 企業立地と新たな産業の創出

### Creation of Corporate Parks and New Industry

Seto City has developed as a city of pottery production since ancient times. Now, as growth and conglomeration occur in the insulators and fine ceramics industries derived from the pottery industry, new industrial fields such as electric machinery, metal and medical-related products are developing in Seto that support the regional economy.

We will continue to provide support for a variety of businesses located in the city, foster initiatives to increase employment, and attract and cultivate industries that promise growth.

瀬戸市は、古くからやきもののみならず、陶磁器産業を中心に発展してきました。現在では、碍子やファインセラミックスといった陶磁器から派生した産業が成長・集積するとともに、電気機械や金属製品、医療関連など新たな産業分野への展開が図られ、地域の経済を支えています。

これからも市内に立地する企業に対する様々な支援を行うほか、雇用対策や今後の成長が期待できる産業の誘致・育成等を図ることで活力ある地域経済と豊かな暮らしを実現できるまちを目指します。



穴田企業団地



暁工業団地

### 地域経済を支えるリーディングカンパニー

Leading companies supporting the local economy



**河村電器産業株式会社** 暁  
Kawamura Electric Inc.  
【ブレーカ・分電盤等の製造販売】  
受配電機器分野において国内トップレベルのシェアを誇る、創業100年を迎えるメーカーです。  
(経済産業省 地域未来牽引企業、愛知ブランド企業)



**富士特殊紙業株式会社** 暁  
Fuji Tokushu Shigyo Co., Ltd.  
【食品用パッケージの印刷/製造販売】  
世界初の水性グラビア印刷技術を開発し、数々の賞を受賞している企業です。  
(愛知ブランド企業、ダイバーシティ経営企業100選)



**杉山重工株式会社** 穴田  
Sugiyama Heavy Industrial Co., Ltd.  
【粉粒体向け機器・設備の設計/製作/施工】  
国内トップクラスの粉体生成技術を有し、世界各国に機器装置やプラントを提供している企業です。  
(経済産業省 地域未来牽引企業)



**株式会社トーカロITGK** 山の田・坊金  
Tokatoy TGK Co., Ltd.  
【超硬素材・精密金型部品等の製造販売】  
国内有数の超硬合金メーカーで、多品種少量特殊品の受注生産を強みとしています。  
(愛知ブランド企業)



# 瀬戸市の新しい教育

## 小中一貫校「にじの丘学園」の開校と小中一貫教育の推進

瀬戸市では、平成28年3月に「第2次瀬戸市教育アクションプラン（瀬戸市教育振興基本計画）」を策定し、10年後を目標年度とする、本市の教育振興を図るための施策をまとめました。

子どもたちが、自ら考え、学び、生き抜く力を育むことをプランの根幹とし、確かな学力の定着と向上、地域や社会とつながる教育の推進、適正で魅力ある教育環境の充実などを基本目標として掲げ、これらの基本目標をより効果的に実現するために、子どもたちの

のより良い教育環境づくりに取り組んでいます。

また、2020年4月に小中一貫校「にじの丘学園」が開校し、市全体で小中一貫教育が始まりました。各中学校ブロックの小中学校において、義務教育9年間を見通した教育目標やカリキュラムを作成し、学校や地域の特色を生かした教育活動を展開し、より多くの教職員や家庭・地域のみなさんで、長きにわたって子どもたちの成長を見守ります。



本市では「主体的・対話的で、深い学び」の具現化、そして、ICTを活用した「令和の日本型教育」を展開することで、瀬戸市に学ぶ児童生徒に「自ら考え、学び、生き抜く力」の育成を目指しています。そのために、全市的な小中一貫教育を推進しています。柱となるのが、「協働型課題解決能力の育成」と「郷土愛の醸成」です。

豊かな自然、長い歴史の中で引き継がれてきたものづくりの精神が息づき、新しいまちづくりが進む中で、未来を担う人材を育成していきます。

教育長 加藤 正彦  
School Superintendent  
Masahiko Kato

### New Education in Seto City

Opening a Combined Elementary and Junior High Schools "Nijinooka Gakuen" and Going ahead with Educational Continuity from Primary through Early Secondary levels in The Whole City

In March 2016, we formulated the 2nd Seto City Education Action Plan that is a 10-year plan for promoting education in Seto city.

To foster children's ability to think by themselves, to learn independently and to get through modern society is the foundation of this plan. We set basic goals to have children acquire and develop solid academic capabilities, to promote education that cooperates with the local community, to make a decent and attractive educational environment and so on. We are working to create a better education environment for achieving these basic goals more effectively.

In April 2020, Nijinooka Gakuen opened, and we started to go ahead with educational continuity from primary through early secondary levels in the whole city. In elementary schools and junior high schools at each junior high school district, we create a curriculum and educational goals that see the 9 years of compulsory education. And we keep on watching children develop with teaching staff and local people for a long term by unfurling educational activity that is incorporated characteristics of community and school.



**英語教育** English education  
小学校1年生から中学校3年生までの系統的な英語教育で、グローバル社会で活躍するコミュニケーション能力を身につけます。



**キャリア教育** Career education  
地域の方や地域企業の協力を得ながらキャリア教育を実施し、将来、社会の中で自分らしい生き方を実現するための資質や能力を育みます。



**プログラミング教育** Programming education  
コンピュータに意図した処理を指示することができるという体験をしながら、問題の解決には必要な手順があることを学びます。



**食育** Dietary education  
生きた教材として、学校給食を活用した指導や家庭・地域と連携した食に関する体験活動などにより、食育を推進します。

# 子どもたちの「つながる心」と「生きぬく力」が育つまち

子どもの頃から家族や地域の人に愛され、多くの人と関わる経験をする中で、自己肯定感が生まれるとともに、周囲の人々とのつながりの大切さに気づき、相手を思いやる気持ちが育っていきます。また、自分や人を思いやる気持ちが、やがて「まち」への愛着を持つことにつながり、生まれ育った「瀬戸」を大切に想う気持ちが育まれます。

また、子どもたちが自分の将来に夢と希望を持ち、それを実現するために様々なことに挑戦する中で、自分自身を考える経験をする。そのことが、子どもたちが大人になったとき、困難な社会を「生きぬく力」となります。子どもたちが健やかな毎日を過ごすことができるとともに、一人ひとりが輝いた人生を送ることができるよう支援していく必要があります。

瀬戸市では、子どもたちの「つながる心」と「生きぬく力」を育むまちとして子育て支援を行っています。

## City that Fosters Children's Sharing Spirit and Ability to Overcome Difficulties

Those who are loved by family and neighbors and who experience interactions with a lot of people from their childhood develop a sense of self-affirmation, realize the importance of ties with others and foster caring feelings for people around them. Caring feelings towards oneself and other people ultimately link to love for the community, which fosters affection for Seto as the place where one was born and raised.

Kids have their own dreams and hopes for their future, too. And as they face a variety of challenges in order to achieve them, they think about themselves in the process. Experiencing this thinking process leads to ability to overcome difficulties in a society when they grow up. While we must support children so they can spend every day in good health, it is also important to help each of them live their best lives.

Seto City provides child-raising support in its role as a city that fosters children's sharing spirit and ability to overcome difficulties.

瀬戸市では、すべての子どもたちの成長を支援するため、これから親になる世代から子どもが大人になるまでの様々な世代に応じた子育て支援を行っています。



子ども・若者の困りごとに対し、一人ひとりに合った支援を切れ目なく行うため、令和3年に子ども・若者センターをオープンしました。

市民の皆さんが安心して子育てができるよう、「子どもガイド」を配布しています。



瀬戸市子育て支援サイト「せとっ子ねっと」  
<https://www.city.seto.aichi.jp/kosodate.html>



市民や各種団体が協働して自らが住む  
Citizens and various organizations work

まちの課題解決に取り組んでいます。  
together to solve the problems of the city.

# 地域力向上推進

## Improving Community's Vitality

The comprehensive strength that the local residents tackle challenges such as support for the elderly and child-raising, crime and disaster prevention is called "the Community's Vitality". Residents' associations, community centers, local social welfare councils and other local organizations work together to expand efforts to resolve the issues. There is wide range of activities planned and implemented by the residents themselves in each community. The government supports these activities with the goal of making the communities more comfortable and pleasant places to live.

高齢者支援、子育て支援、防犯・防災など、地域が抱える課題を地域住民自らが関心を持ち、解決していくための総合的な力を瀬戸市では「地域力」と位置付けています。自治会・公民館、地区社会福祉協議会など地域の各種団体が協働して、地域の課題解決に向けた活動を展開しています。現在、瀬戸市では16の地域力向上推進組織が設立され、各地域で住民自らによる企画立案のもと、多種多様な活動が展開されています。今後も、それらの活動を支援していくことで、地域をより快適で住みやすいまちにしていきたいことを目指します。

### 道泉地域力推進協議会 道泉みこし祭り

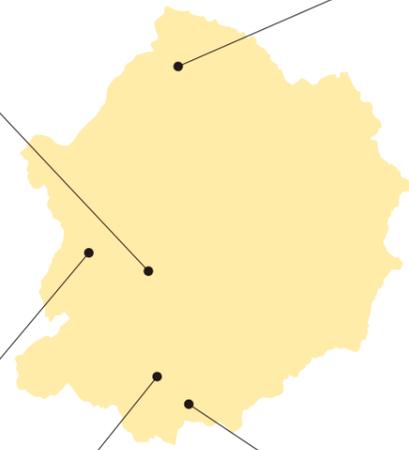


「せと陶祖まつり」にあわせて、毎年開催しています。銀座通り商店街を抜けて深川神社に至る道のりを威勢よく練り歩きます。

### 西陵地域力推進協議会 「花と緑で潤いのある街づくり」事業



街中が華やかのように、地域の公園や歩道などに花壇を作り、季節ごとの花の種や苗を植えて育成する活動を行っています。



### 掛川地域力向上委員会 子育て支援事業「里山体験」



ジャガイモやサツマイモなどの作物を、植え付けから収穫まで行う農業体験など、豊かな自然に触れる機会を提供しています。

### 山口も～やっこ地域力協議会 買い物移動支援「やまぐちの孝行息子」



買い物に困窮している高齢者等を、ボランティアドライバーが自家用車でスーパーマーケットに送迎しています。

### 新郷地域力推進協議会 新郷連区防災訓練



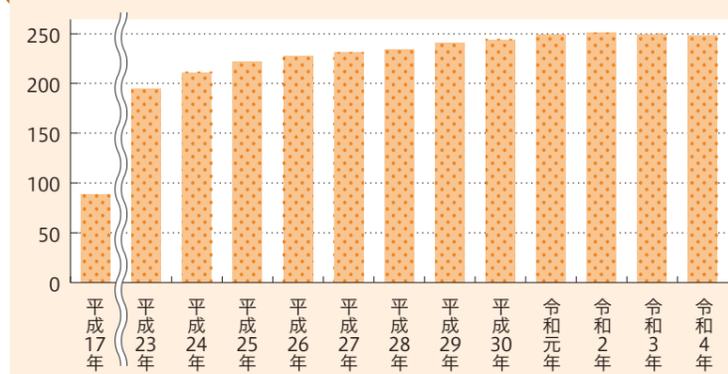
各家庭内での訓練のほか、避難所で初期消火や応急手当などの訓練を行っています。また、地域独自で防災動画も作成し啓発活動を行っています。

# 市民活動

## Civic Activities

Since the occasion of the World Exposition in 2005, the mechanism of self-help and mutual aid has spread around the communities. Today, more than 240 groups are working actively to make the city a better place to live. The next step is to take advantage of the expertises and abilities of civic groups and NPOs to collaborate with government, local regions, and schools to meet even more diverse regional needs and challenges.

### 瀬戸まちの活動センター登録団体数の推移



瀬戸市では、平成17年に開催された愛・地球博を契機に地域活動や市民活動の取り組みが着実に増えており、「自立し、助け合う社会の仕組み」が地域に広がっています。平成17年度に発足した市民活動センター（現：瀬戸まちの活動センター）への初年度登録団体数は89団体でしたが、令和4年度には248団体と約2.8倍に増え、様々な分野で活動が行われています。こうした中、市民活動に期待される次のステップは、市民活動団体、NPOが持つ専門性や行動力を活かして、「行政や「地域」「学校」などと連携し、さらに多種多様となるニーズや地域課題に 대응していくことです。今後も、若者から高齢者、障害者など全ての市民が持っている能力を発揮できる仕組みづくりに取り組むとともに、市民自らが地域課題とその原因を探り出し、様々な主体と協力して課題解決に取り組む活動を推進します。



とくとく交流会  
「協働のまちづくり」をテーマに、市民活動団体と市職員がまちの課題を解決するためのアイデアを出し合いました。



瀬戸まちの活動センター

### 交流フェスタ Koryu Festa

市民活動の輪が広がっていくように、団体の活動発表やブース展示などを行い、市民や市民活動団体同士の交流の場として開催しています。





# 新たな協働によるまちづくり 広がる市民の

Collaborating to Make a Better Society

## 輪

地域で活動している市民の皆さんに、まちの魅力やキャッチコピーを聞いてみました。

We asked citizens about the city's appeal and catchphrase.



# ジブリパーク応援 「となりのセトシ」

令和4年11月1日、愛・地球博記念公園内にジブリパークが開園しました。瀬戸市は、愛知万博の理念を次世代へ継承するジブリパークを応援するとともに、瀬戸市の自然やレトロな魅力を「となりのセトシ」として市内外に広く発信するなど、市民の誇りと愛着の醸成や地域の活性化に向けた取り組みを進めています。



## ロゴマークを活用した プロモーション展開

「ジブリパークのある愛知」のロゴマークを活用したプロモーショングッズ等を作成しました。

## デザインマンホールの作成

ロゴマークの入ったデザインマンホールを市内4か所に設置しました。

## となりのセトシバナーの作成

ジブリパークと「となりのセトシ」をPRするバナーを名鉄瀬戸線と尾張瀬戸駅周辺に設置しました。



## 広告塔の作成

ロゴマークが入った広告塔をせとまちツクリテセンター横に設置しました。

# 瀬戸市議会

SETO CITY COUNCIL

瀬戸市議会は市民の代表として、選挙によって選ばれた26名の議員で構成しています。公正性と透明性が確保された議会運営に努め、自らの果たすべき役割と責任を認識しつつ、市民の多様な意見・意思を反映できる合議機関として市民の負託に全力で応えていきます。

26 people are elected to serve as representatives on Seto City Council. The council gives their best to ensure fair and transparent management and to reflect diverse views of the citizens.



# 将棋文化振興

地元棋士の活躍を受け、瀬戸市では平成30年に「瀬戸将棋文化振興協会」が立ち上がるなど、まち全体で将棋文化の普及や地元棋士の応援に取り組んでいます。

## 将棋文化の普及

こども将棋大会や棋士の公開対局などを行う「将棋まつり」、小中学校と連携した特別教室などが開催され、幅広い年齢層の方々に将棋に親しんでもらえる機会を創出するとともに、伝統文化の継承と知識の普及向上を図っています。



## 将棋文化振興自治体 全国将棋サミット

将棋文化の継承と普及に関する事業を通じて地域の発展を目指す自治体が一堂に会する「全国将棋サミット」に参加し、各地での取り組みについて意見交換を行い、交流と連携を促進しています。



## 瀬戸

戸市議会では、さらに開かれた議会を実現するため、瀬戸市議会基本条例を制定し、議会や議員がいかに活動するかを定めており、議会機能の強化や、市民福祉の増進を目指しています。

この議会基本条例に基づき、議員の資質向上のための議員研修会を毎年開催しています。他にも、市民と議会の意見交換会「せとまちトーク」を実施し、市民の皆さんの意見をいただき、政策資源とするための方策を進めています。

また、議会宛に提出された市民からの提案（請願）、市民からの意見（陳情）は、要件を満たすものについては審査を行う常任委員会において市民から直接議員に説明することができ

ます。本会議、各常任委員会などの模様は傍聴していただくほか、インターネットでも視聴ができます。瀬戸市長から提出された議案を審議する過程や一般質問における議会と市とのやりとりなどぜひご覧ください。

また、議会活動をSNS（フェイスブック・インスタグラム）等でも情報発信してまいりますので、そちらもご覧ください。



市民と議会の意見交換会「せとまちトーク」



議員研修会

市制95年  
のあゆみ  
Celebrating 95  
Incorporated Years

## 昭和

- 昭和63年 (1988) 愛知環状鉄道開業
- 昭和60年 (1985) 暁企業団地完成
- 昭和57年 (1982) 瀬戸市文化センター完成
- 昭和54年 (1979) 瀬戸市体育館完成  
市制50周年  
市の花「つばき」選定  
市民憲章制定  
タイムカプセルの埋設  
穴田企業団地完成
- 昭和52年 (1977) 「赤津焼」伝統的工芸品に指定
- 昭和49年 (1974) 「瀬戸の陶磁器の生産用具及び製品3,943点」国の重要民俗資料に指定
- 昭和47年 (1972) 人口10万人を突破  
(県下8番目)
- 昭和45年 (1970) 新図書館開館(東松山町)
- 昭和44年 (1969) 市制40周年  
市の木「くろがねもち」選定
- 昭和43年 (1968) 東寺山町に市内最初の歩道橋完成
- 昭和42年 (1967) 県営菱野団地起工式
- 昭和34年 (1959) 品野町合併
- 昭和30年 (1955) 幡山村合併
- 昭和26年 (1951) 水野村合併
- 昭和24年 (1949) 市制20周年市歌・音頭を発表
- 昭和21年 (1946) 天皇陛下御来瀬、窯業高校、工業組合など御視察
- 昭和19年 (1944) 「せともの祭」  
19年・20年の両年は中止
- 昭和11年 (1936) 組合立陶生病院開院
- 昭和8年 (1933) 上水道通水開始
- 昭和7年 (1932) 第1回せともの祭
- 昭和5年 (1930) 市紋章制定
- 昭和4年 (1929) 市制施行  
(県下5番目)  
人口36,932人  
戸数8,006戸



平成23年 道の駅「瀬戸しなの」オープン



平成15年 瀬戸デジタルタワーから地上波デジタル放送開始



昭和63年 愛知環状鉄道開業



平成29年 日本六古窯が日本遺産に認定



平成17年 2005年日本国際博覧会(愛・地球博)開幕



昭和21年 天皇陛下御来瀬



昭和8年 上水道通水開始



昭和4年 市制施行 祝賀園遊会



昭和54年 市制50周年 タイムカプセルの埋設



昭和45年 新図書館開館

受け継がれてきた  
歴史を未来へ

History passed down  
and into the future

写真提供 フォトスタジオ伊里

## 2014

平成26年  
市役所新庁舎完成

## 令和

- 令和3年 (2021) 東京2020オリンピック  
聖火リレー開催  
熊本県天草市と交流連携協定を締結
- 令和2年 (2020) 小中一貫校「にじの丘学園」開校
- 令和元年 (2019) 市制90周年
- 平成29年 (2017) 第6次瀬戸市総合計画スタート  
「日本六古窯」が日本遺産に認定
- 平成26年 (2014) 市役所新庁舎完成
- 平成24年 (2012) 陶祖800年祭  
開幕
- 平成23年 (2011) 道の駅「瀬戸しなの」オープン
- 平成21年 (2009) 瀬戸万博記念公園  
(愛・パーク)オープン



陶祖800年祭  
マスコットキャラクター  
「藤四郎くん」

## 平成

- 平成4年 (1992) 日本六古窯サミット
- 平成5年 (1993) 福祉保健センター  
「やすらぎ会館」オープン
- 平成6年 (1994) わかしやち団地  
(ウエイトリフティング)
- 平成8年 (1996) 第1回来る福招き猫まつりin瀬戸  
中国・景德鎮市と友好提携
- 平成9年 (1997) 「瀬戸染付焼」伝統的工芸品に指定  
2005年国際博覧会開催決定
- 平成15年 (2003) フランス・リモージュ市と  
姉妹都市提携
- 平成16年 (2004) 瀬戸デジタルタワーから地上波デジ  
タル放送開始
- 平成17年 (2005) 瀬戸菱野トンネル開通  
チュニジア・ナブル市と  
姉妹都市提携
- 平成18年 (2006) パルティせとオープン  
瀬戸蔵オープン
- 平成19年 (2007) 東海環状自動車道開通 せと赤津PA・  
IC、せと品野IC供用開始
- 平成20年 (2008) 「せと・やきもの世界大交流」開幕  
2005年日本国際博覧会(愛・地球  
博)開幕
- 平成21年 (2009) 韓国・利川市と姉妹都市提携  
コミュニティバス運行開始
- 平成22年 (2010) 民吉修業200周年記念植樹



## 瀬戸市勢要覧2024

発行 瀬戸市

発行年月 令和6年3月

住所 愛知県瀬戸市追分町64番地1

TEL 0561-82-7111(代)



瀬戸市ホームページ

<https://www.city.seto.aichi.jp/>

